

# ロボットでリハビリ

## 党県議団 歩行訓練の現場を視察

神奈川  
厚木市



歩行支援ロボットを使った訓練の様子を視察する党神奈川県議団

公明党神奈川県議団(小野寺慎一郎団長)は17日、同県厚木市にある県総合リハビリテーションセンターを訪れ、歩行支援ロボットを用いたりハビリの様子を視察した。

同センターでは現在、脊髄せきずいの損傷などで下半身がまひしている人を対象に、最新の歩行支援ロボット「リウォーク」を活用して歩行訓練を行っている。

「リウォーク」は、体の重心の移動をセンサーが感知し、下半身に取り付けた装置が、次の一步を踏み出せるよう手助けする仕組み。

み。このほか、いすから立ち上がったたり、腰を下ろしたりすることも可能だ。

担当スタッフによれば、「リウォーク」を使った訓練によって、数カ月から半年で平らな道なら支障なく移動できるようになった人もいるという。

対応した関係者に小野寺団長は、党県議団として介護ロボットなどの導入・普及に力を注いできた経緯を踏まえ、「今後も医療や介護、福祉などの現場を担う職員の負担軽減や、質の高いケアの提供に役立つ最先端ロボットの普及促進に全力で取り組む」と述べた。